

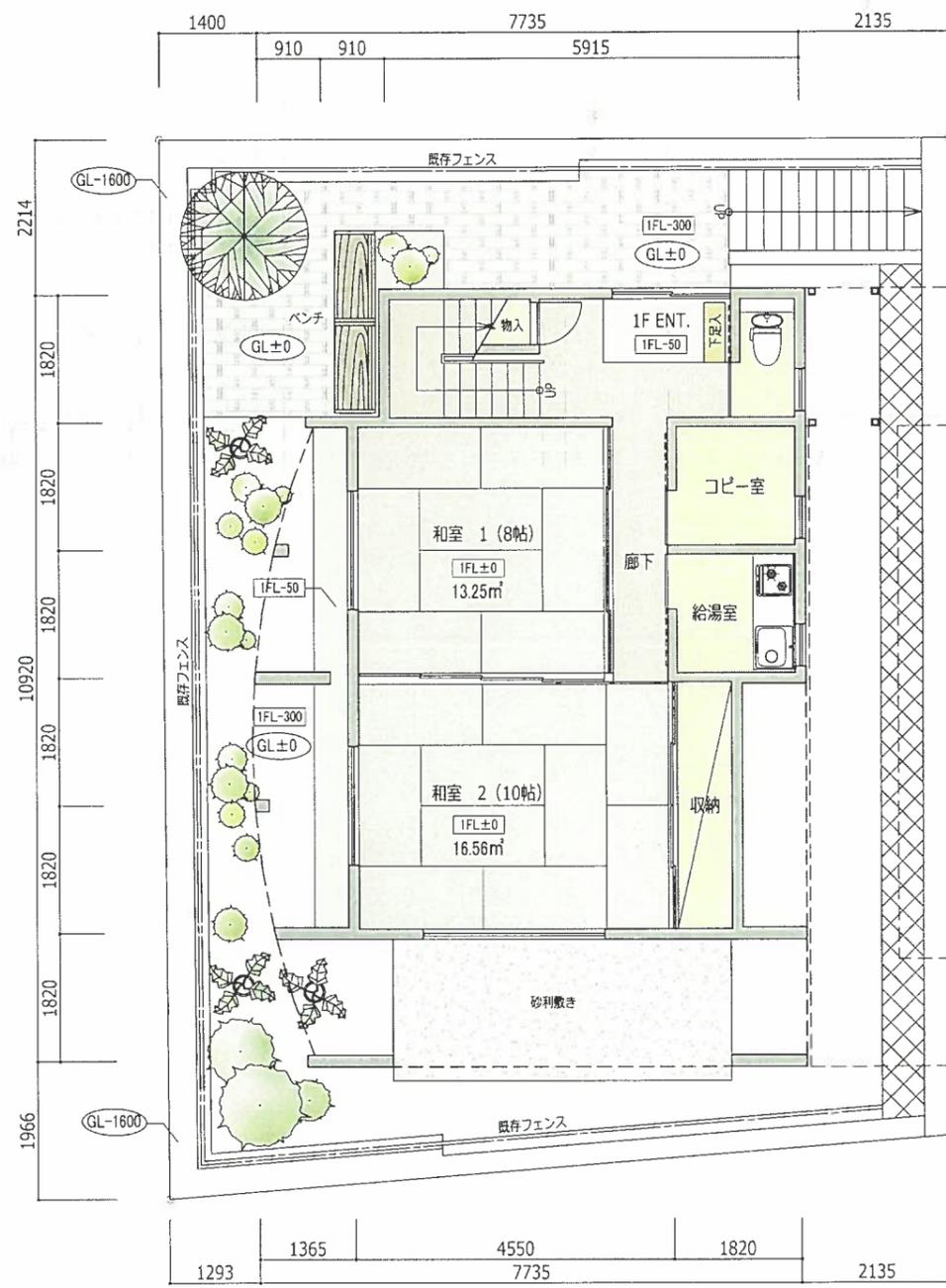
Title

見晴台に建つ自治会館

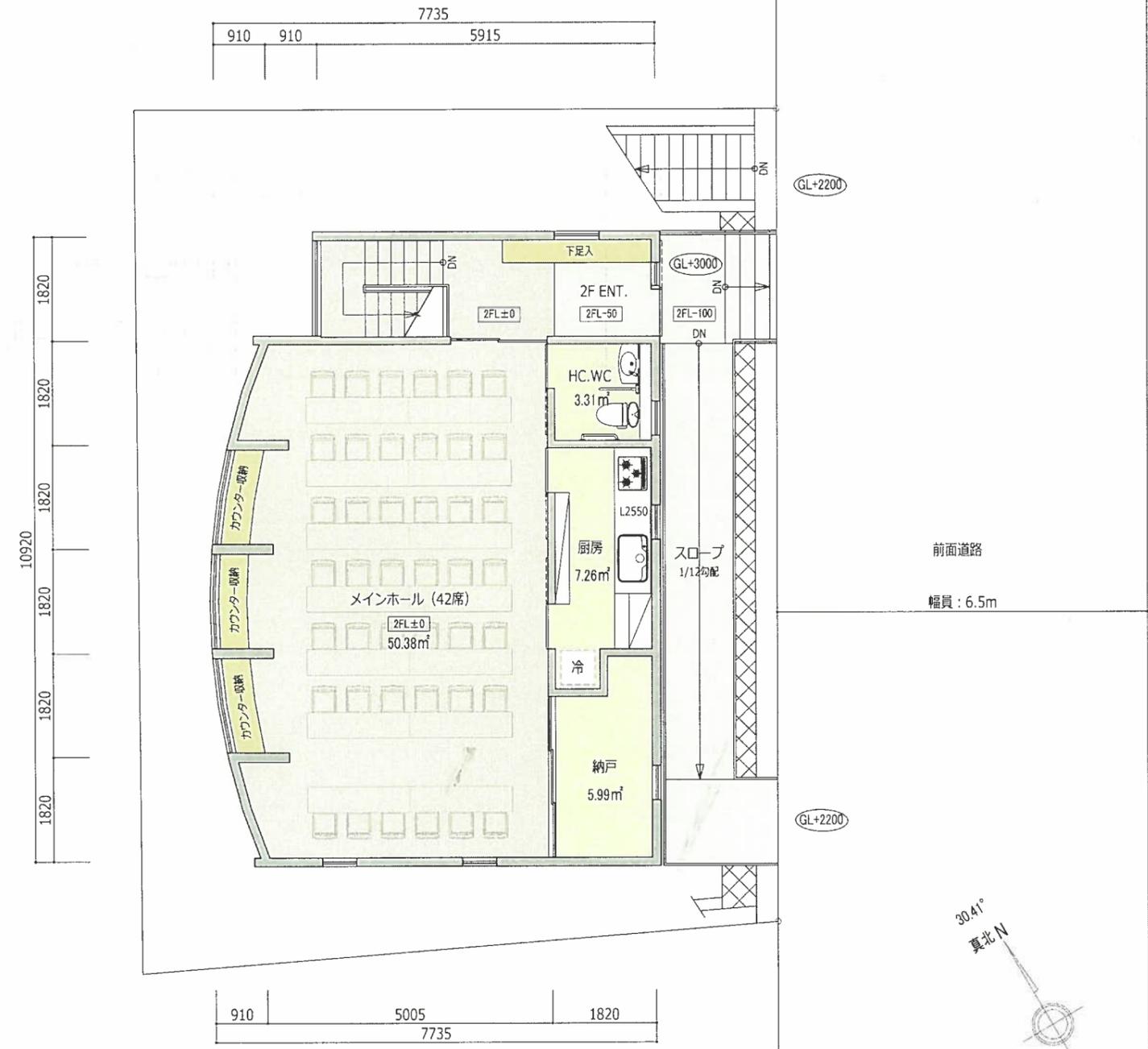
建物
概要

計画場所	横浜市旭区中白根2丁目-1265-95	敷地面積	164.50㎡
用途地域	第1種低層住居専用地域	建築面積	80.90㎡
防火地域	防火指定なし	1階床面積	77.71㎡
その他の区域	第1種高度地区、法22条地域	2階床面積	53.83㎡
建蔽率	50%	延床面積	131.54㎡
容積率	80%	計画建蔽率	49.18%
構造	木造2階建て	計画容積率	79.96%

平面図
(配置図)
S=1:100



1F PLAN
(配置図)



2F PLAN

設計 主旨

「見晴台に建つ自治会館」

この自治会館を計画するにあたって、特に留意すべき事項は、まずは西側に眺望の開けた敷地であること。そして、自治会館という建物の性質上、多数の利用者がいるということである。それから、県産材を使用した「木の温もり」を感じる室内空間として住民にとって心安らく「場」をつくることである。

バリアフリー

各階のレイアウトについては、道路からの高低差が比較的少ない2階へバリアフリーアクセスとし、2階に主玄関および利用人数の多いメインホールを配置した。

眺望

敷地に関しては斜面地であるが故に、さながら見晴台のごとく遠くまで見渡せる眺望を持っているため、当然室内からもこの眺めを満喫できる計画としたいところではあるが、そこで注意すべきは、冒頭に上げたもうひとつのキーワードである、多数の利用者がいるということである。単純にガラス張りの開放的な建物にしてしまうと、確かに眺めは良いが、同時に眼下の住宅などからすると、見下ろされている感覚が起きてしまうことだろう。そのため、地域に調和する必要がある自治会の建物としては、出来るだけ眼下の視界を遮るようなつくりとしてある。

採光と温熱環境

西面の開口部を大きくしすぎると、温熱環境的にも不利となるので、メインホールへの採光は東側のハイサイドライト（高窓）から間接光を取り込むようにして、天井面からの反射光を利用することで日中の会議等には極力照明を使用しなくても十分な照度を確保出来るようにして省電力化に努める計画とした。



内観
イメージパース

各室のレイアウトは多くの利用者が同時利用するため、下図のようにシンプルな構成とし、「移動空間」とその他2つの空間が交差しないように配慮した。
下図は2階を例にしているが、1階のレイアウトも同様の思想に基づいている。
また、メインの厨房は2階メインホールに隣接して配置し、1階は給湯程度を想定している。

MOVING AREA

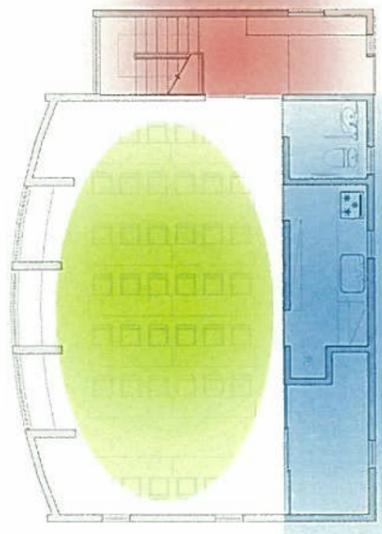
— 移動空間 —

FUNCTIONAL AREA

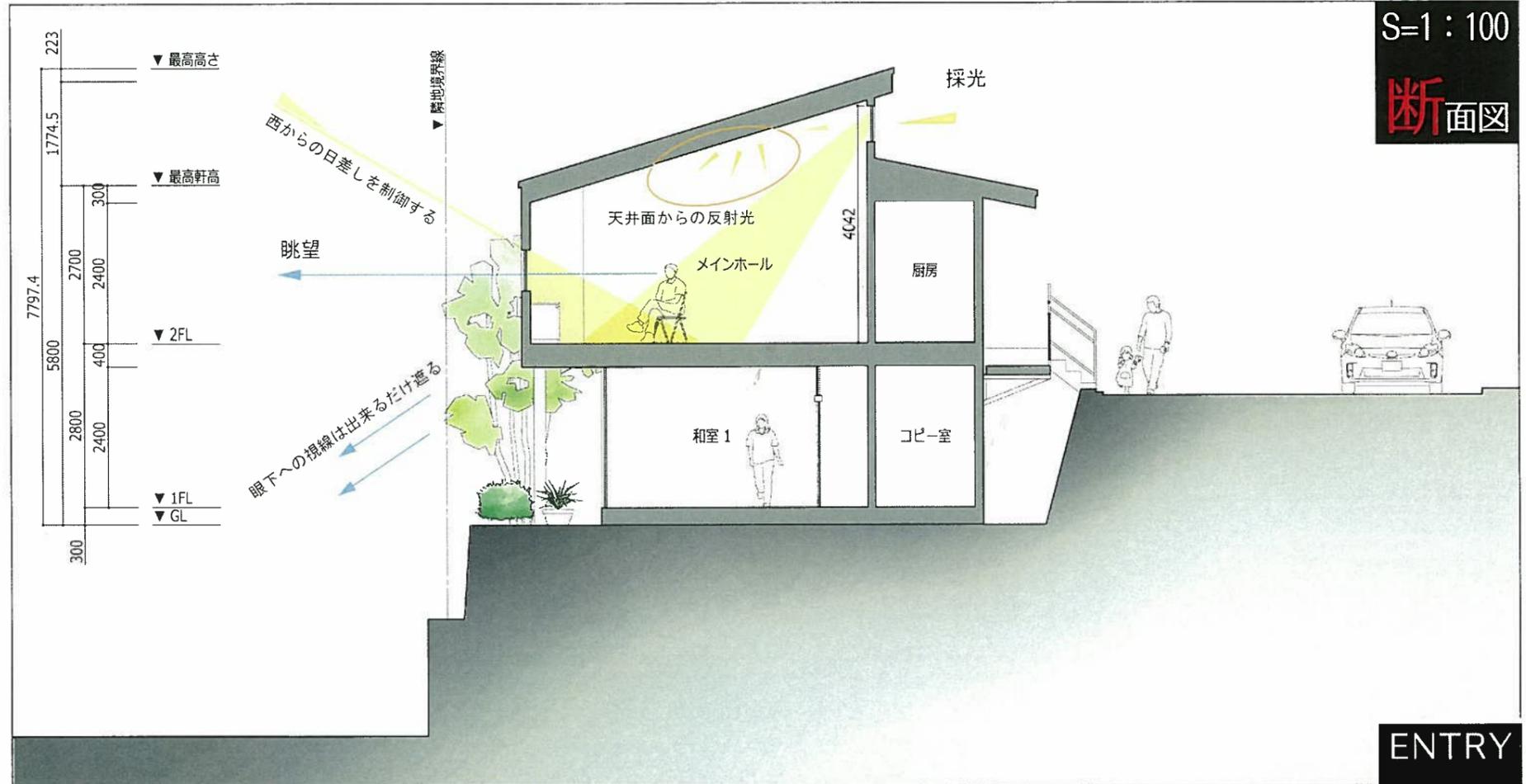
— 機能的空間 —

MEETING AREA

— 集う空間 —



ファンガイラム
Planning
Diagram



S=1:100

断面図